

小山市立博物館

博物館だより

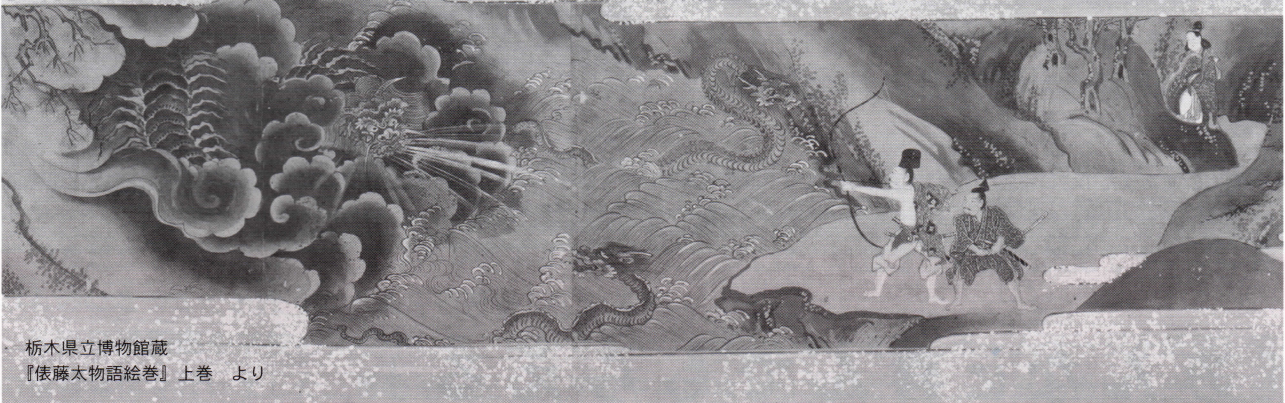
2020
8.15

71

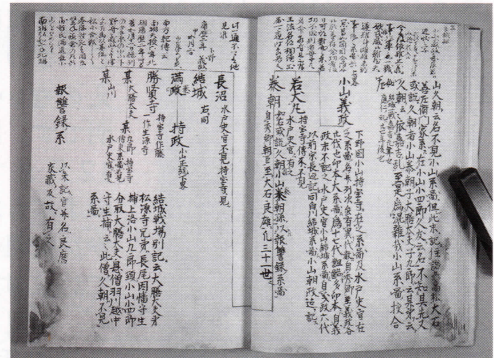
第73回企画展

秀郷伝説異聞

令和2年10月24日(土)~11月29日(日)



中世小山氏の祖である藤原秀郷は、平安時代中期の武将で、名だたる東国武士をはじめ、多くの氏族の祖となりました。しかし秀郷の実像は不明な点が多く、伝説上の英雄である「倭藤太」としての活躍が広く知れ渡っているようです。その伝説の舞台を訪ね、秀郷の実像とその子孫である関東の代表的な武士団である名族・小山氏の展開、そして大石内蔵助との関係について紹介し、郷土の歴史への理解を深めたいと考えております。



赤穂大石神社蔵
『系図付録』より

関連講座

申込みは10/7(水)から電話で、先着順。(Tel 0285-45-5331)

- 講演会「秀郷から小山氏へ」 講師：國學院大學栃木短期大学教授 菱沼一憲氏
11月 1日(日) 13時30分~15時 当館視聴覚室 定員30名(無料)
- 講談「倭藤太の大ムカデ退治」 講談師：神田真紅
11月14日(土) 13時30分~14時30分 当館視聴覚室 定員30名(無料)
- 講演会「藤原秀郷と平将門の乱」 講師：栃木県立博物館主任研究員 山本享史氏
11月22日(日) 13時30分~15時 当館視聴覚室 定員30名(無料)

【休館日】10/26(月)、11/2(月)・9(月)・16(月)・24(火)・27(金) 【開館時間】9時~17時(入館は16時30分まで)

【入場料】大人200円(100円)、大高生100円(50円)、中学生以下無料。

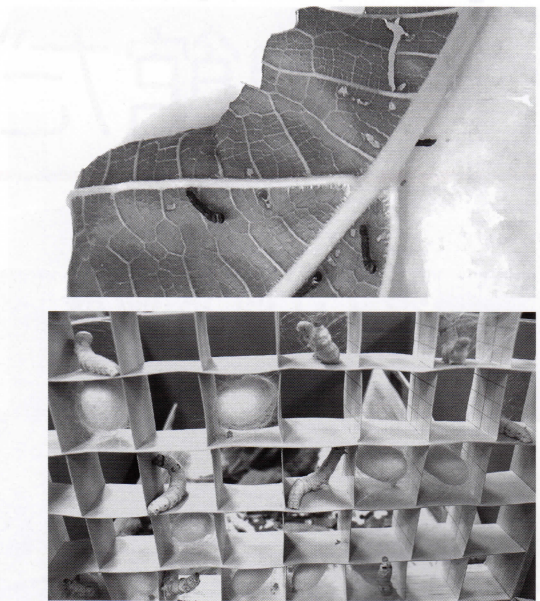
※()内は20名以上の団体料金。今年度の市立車屋美術館の半券で、大人100円、高・大生50円に割引
※11/3(火)【文化の日】・23(月)【勤労感謝の日】は無料。

カイコ飼ってみた!

6月初め、JAおやま北飯田稚蚕飼育所さんから、卵から孵(かえ)って2日後の稚蚕(ちさん)をいただき、博物館で飼うことになりました。目的は、カイコガの標本がほしい!というものでしたが、最初は気持ち悪がっていた職員も、すすくと成長していくカイコから目が離せなくなり、職員一同その成長をワクワクしながら見守りました。カイコはすべて無事に繭(まゆ)をつくり、カイコガになって、一部のカイコは交尾をして卵を産んでその命を全うし、一部は博物館の標本資料となってくれました。

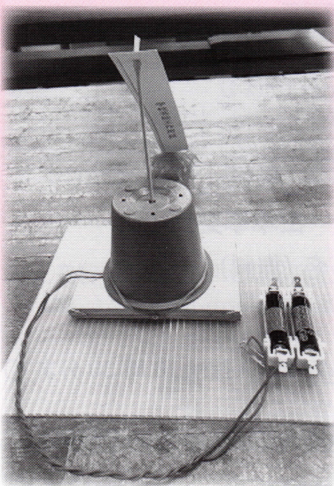
カイコの成長日記は当館HP「博物館日記」でくわしく見ることができます。

(写真上段: まだまだ小さい稚蚕 下段: 職員の手づくりマブシで繭をつくる幼虫)



発明のおはなし 5

「みんなに喜んでもらえる」

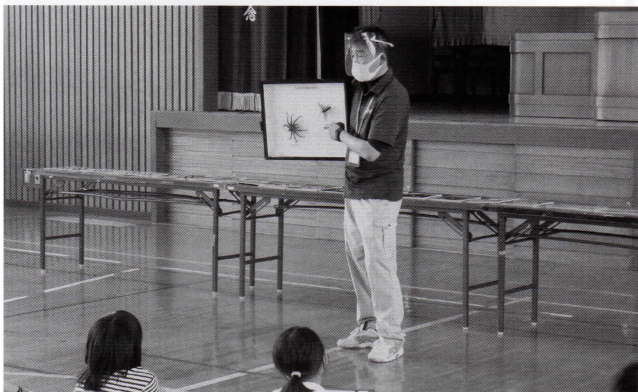


古今東西、人類の夢を実現し、その発展にとってかけがえのない創造力の成果が発明です。博物館では1月から12月までの月2回、36名の子どもたちと「小山市少年少女発明クラブ」の活動をしています。今年は残念ながら、新型コロナウイルスの影響で3～5月の活動が中止となってしまいましたが、6月に活動を再開し、恒例の科学技術週間『発明の日・発明創作教室』を実施することができました。今年度の発明創作教室では、モーターと電池を利用した楽しい工作「ねこじゃらしん」を作りました。

乾電池にモーターをつないだときに、電流には流れる向きがあり、つなぎ方を変えることで、回転が逆になる工作です。回転する飾りの重さや形態を工夫することで回転の速さを調整できることに気づき、楽しく活動していました。

さて、発明にはそれにまつわる人々の出来事のようなエピソードがあります。努力、偶然、幸運、不運など、そこには人間のドラマがあります。今回は、ボールペンを発明したハンガリーの発明家ビーロー氏の話です。彼はジャーナリストでした。万年筆で原稿を書くときに、書きにくい上に乾きにくく、インクがにじんでしまうことに苦労していました。ある日、新聞の印刷に使っているインクは速乾性があってにじまないことに気づきます。さっそくそのインクを万年筆に使ってみました。インクがペン先に出てこなくて文字が書けません。原因はインクの粘性にあることに気づいたビーロー氏はこのインクでペンを作ろうと考えました。それは自分のためだけではありませんでした。当時、万年筆の書きにくさ、乾きにくさには多くの人が不満を抱いていました。「万年筆よりも書きやすく、インクのにじまないペンを生み出せば、みんなに喜んでもらえる。」との思いで研究に取り組みました。苦労に苦労を重ね、ついに小さなボールがペン先に仕込まれた、現在のボールペンの原型が生み出されたのです。

今年の学校連携事業



当博物館では、教育普及活動の一環で、学校利用推進事業や学校教育支援事業などの学校との連携事業や、公民館や自治会・育成会などでの出前講座、博物館での各種講座や天体観望会など、さまざまな事業を実施しています。毎年、多くの方々に参加していただいています。今年度もたくさんの事業が計画されていましたが、残念ながらそのほとんどが中止や延期となってしまいました。

そんな状況下ではありますが、学校の再開に伴い、学校との連携事業が始まりました。3密を回避しながらも子どもたちには、より

よい学習を提供できるようにしなくてはなりません。

昆虫教室では、クイズパネルを別の標本箱に差し替えたり、標本箱の消毒を行ったりしています。また、学校と相談して見学の仕方や実施回数、時間等を変えながら実施しています。毎年何度も行っている昆虫教室ですが、一人ひとりの子どもたちにとっては、一度きりの昆虫教室です。心に残るものになってくれたらと考えて授業をしています。

外出自粛期間や学校の休校中には、何かできることはないかと考え、ホームページを活用しての情報発信を行いました。博物館日記やメダカや蚕の成長日記などです。写真や動画を使用して博物館のようすや生き物の成長のようすをのせています。まだまだ工夫改善の余地はたくさんありますが、これからも新しいことに挑戦し、よりより博物館事業を実施していきたいと思えます。

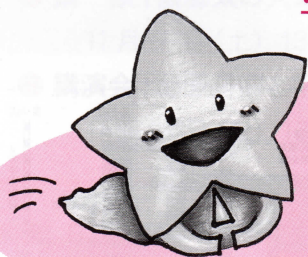
博物館からのお知らせ

博物館の新型コロナウイルス感染拡大防止策

博物館では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、来館者のみなさまに以下のご協力をお願いしています。ご不便をおかけしますが、趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いします。

- ① 発熱・咳等、風邪のような症状がある場合には入館することができません。
- ② 必ずマスクを着用してください。
- ③ 入館時と退館時には手指の消毒を徹底してください。
- ④ 入館者が20名以上になった場合には入場を制限することがあります。
- ⑤ 受付にて緊急連絡先等の必要事項をご記入後、入館ください。
- ⑥ 展示会開催中10名以上の団体でお越しの方は、事前に電話にてご連絡をお願いいたします。

お問い合わせ・連絡先 電話 0285 - 45 - 5331



ほっしー

博物館では、感染拡大を防ぎつつ行える活動を模索しています。博物館ホームページにて「おうちではくぶつかん」を開設しました。

小山市立博物館 おうちではくぶつかん

検索

<http://www.city.oyama.tochigi.jp/site/hakubutu/list497.html>

8月30日(日)まで開催

栃木県立博物館地域移動博物館

「化石をさぐる」

【開催期間】 令和2年7月18日(土)～8月30日(日)
【開館時間】 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
【入館料】 無料
【休館日】 7月 20日(月)、27日(月)
8月 3日(月)、11日(火)、17日(月)、
24日(月)、28日(金)



展示室の様子

全ての生き物に共通する生きる目的は「栄養を獲得すること」「食べられないこと」「子孫を残すこと」の3つです。この目的を達成するために、動物も植物も様々な形態や生態を獲得してきました。「化石を探る」では、化石となった生き物たちがどのように栄養を採ったのか、どのように身を守ったのか、どのように子孫を残したのかを、化石の中に残された記録をひもといて紹介していきます。

今回の展示では、化石からその生き物の何がわかるのかを解説するだけでなく、自分で考えるコーナーも多数用意しました。化石を見て回ったり、興味を持った化石についてじっくり考えたりできる構成になっています。生きる目的を達成するために、生き物たちがどのように工夫して進化してきたのかを、楽しみながら学べるようにしています。

コラム 博物館職員雑記

学芸員 尾上 仁美

ここ数ヶ月で、普段は企画展準備などに追われ、なかなか進まない古文書整理を進めることができました。

整理作業では古文書との対話を試みます。読みにくい文字に当たった時、「字は得意でないのね」「イライラしてた？ずいぶんななぐり書きだね」「墨がなくなった？」(だから読めない)と、自分の不勉強は棚に上げて達筆な毛筆をけなしますが、返事はなく、虚しい気持ちになります。

自席にもどって予定を書き込んだ手帳を開くと、見覚えのあるくせ字。もし、この手帳を300年後の人間が見つけたとして、果たして読めるでしょうか。手で文字を書かない未来人にはかなり難解でしょう。今、自分でも読めないのです。明日は何時に誰が来るって？くずし字解読AIに読んでもらいたい。古文書の文字で読めないものがあっても、そう思うとなんだか親近感が生まれますよね。

寄贈者芳名

次の方から貴重な資料をご寄贈いただきました。厚くお礼申し上げます。(敬称略)

■磯 英子(小山市) 吸い物椀10組木箱付き 椀類4組

発行年月日 令和2年8月15日
発 行 小山市立博物館 (JR宇都宮線間々田駅西口下車徒歩10分)
〒329-0214 栃木県小山市乙女1-31-7
電 話 (0285) 45-5331 FAX (0285) 45-5247
H P <http://www.city.oyama.tochigi.jp/site/hakubutu/>
印 刷 株式会社ダイサン小山

